



Japan Society of Civil Engineers

International Activities Center

国際センター通信 (No.8)

国際センター発足を振り返って

◆ 国際センター発足1年を振り返って

2012 年度の土木学会の注目すべき出来事の一つとして、「国際センター」の発足があります。

国際部門では、会員のみならず国内外の関係機関からの国際活動の強化に関する要望を受け、平成 23 年度に「土木国際化戦略会議（議長 森地 茂（第 92 代 土木学会 会長、現政策研究大学院大学 特別教授）」を設置し、当会の国際化を図るべく広範な議論が行われました。

上記の戦略会議における検討を踏まえ、その後、理事会において国際化の重要性を十分に検討したうえで、戦略会議が提案する「国際センター」の発足が承認されました。

「国際センター」の発足は、土木学会の組織構成の変化だけではなく、マンパワーや予算の増強も意味します。国際活動は、異言語・異文化間での情報交換や時として長距離の移動を必要とし、適切な人員配置と予算がなければ国際化を推進することはできません。マンパワーと予算は前年に比べ倍増（人員は常勤職員が 2 名から 4 名に、予算も学会予算の 2% から 4% に増加）しました。海外の同様の組織と比較すると決して高い水準とはいえませんが、当会にとっては大きな一歩となりました。



土木学会 国際部門主査理事
センター長 上田 多門
(北海道大学教授)

「国際センター」の発足後、この 1 年間で大きな変化がありました。

それは、

- 1) **新しい英語版 Web サイトおよび毎月発刊のセンター通信による情報の質と量の向上**
- 2) **単に相互を訪問するにとどまらない、協働をはかるための、とくに韓国、台湾、ベトナム、ミャンマーに重点を置いた、真の交流活動の開始**
- 3) **ネットワークによる、有用な情報交換のための海外会員データベースの構築**

です。

JSCE 関係者、特に海外の方々にそうした変化に気づいて頂ければ、我々としては大変うれしく思います。土木はもともと国際的であり、土木学会の活動は当然国際的であるべきなのです。土木学会の活動や協定学会とのジョイント活動に参加する海外の方々が増えることを期待しております。国際センターの 2013 年度予算とマンパワーの増強は決定しております。我々は、より一層の努力をして JSCE の発展と協定学会との協働を広げて行くつもりでおります。国際センターの活動について、ご意見を寄せて頂ければ幸いです。

ご意見、ご要望等がございましたら、国際センター事務局 iac-news@jsce.org.jp、または、直接私宛て ueda@eng.hokudai.ac.jp にお寄せください。

【活動紹介】国際センター情報 G

◆ 平成 25 年度の活動方針と目標 情報共有基盤の強化 ～情報 G 活動の根固め～

土木学会のすべての活動そのものが、幅広く絶えず無数の情報を日々生み出しています。その混沌として発生する情報を、いかに上手く掬い、分かりやすく整え、タイムリーに発信するか。経済・社会活動がグローバル化する中で、国際分野における産学官の連携の強化のため、私たち「情報 G」はこの難題に取り組む決意を固めました。目指すべき姿や理想像は、各人が各様に思い描き得る訳ですが、実行型組織を標榜する国際センターとしては足元を固めて着実な一步を踏み出すことといたします。

まず、情報の収集についてですが、私たち「情報 G」のみの努力では限界があります。そこで学会活動に日々励んでおられる会員の皆様の中から私たちへ各種情報を提供していただける「通信員」をなるべく数多く募集・指定させていただきたいと思っています。海外特派員にでもなったつもりでぜひ多くの新鮮な記事をお寄せいただいて、編集作業にあたる私たちを忙しくさせて下さい。

情報のもう一つの重要な宝庫として学会誌があります。この膨大な情報の塊の中から本当の一部分となってしまうでしょうが、ふさわしい記事を選定し、定期的に海外に発信できればと願っています。また逆に国際センターの動きなどを学会誌に毎月 1 ページ程度掲載させていただければ双方向に情報の交換ができるな、などと考えたりしています。

情報の発信ツールとしては、今回が第 8 号となる「国際センター通信」(和文・英文)を引き続き月一回程度のペースで発行し、タイムリー性を要する情報発信を継続させるとともに、さらに Extra 号で幅広い内容の情報発信に随時努めてまいります。また、英文ホームページを皆様のご協力を得ながら改善・充実させて行きたいと考えています。

「国際センター通信」配信希望者数の拡大についても皆様のさらなるご支援、ご協力をお願いいたします。

国際センター通信の配信を希望される方は、以下の Web サイトよりご登録ください。

<http://committees.jsce.or.jp/kokusai/node/31>

<http://committees.jsce.or.jp/kokusai/node/31>



土木学会 国際センター
情報 G 次長
鶴巻 栄光

イベント情報

- 5/8 : 第 18 回タイ工学会 (EIT タイ・バンコク)
- 5/17-18 : 第 3 回トルコ・日本土木技術者交流シンポジウム (トルコ・イスタンブール)
『Lessons Learned from Recent Earthquake and Strategies for Disaster Reduction with a special emphasis on Izmit Gulf Suspension Bridge & Gebze-Orhangazi Izmir Motorway Project』
- 5/27-29 : 第 1 回コンクリートサステナビリティに関する国際会議@都市センターホテル (東京)
(http://www.jci-net.or.jp/j/events/20130527-0529_02.html)
- 5/30-6/1 : 第 57 回 ECCE 総会・ECCE 会議 (Ordem dos Engenheiros, ポルトガル・リスボン)
(<http://www.ecceengineers.eu/>)
- 6/10 : 特別講演『台湾の行政における土木技術者の役割』
講師：楊 秋興 会場：土木学会講堂 (東京)
(<http://committees.jsce.or.jp/kokusai/>)
- 6/13-15 : モンゴル土木学会年次大会 (モンゴル・ウランバートル)
- 8/20-22 : ACECC 6th CECAR (インドネシア・ジャカルタ)
(<http://committees.jsce.or.jp/acecc/6thcecar>)
- 9/4-7 : 平成 25 年度 土木学会全国大会 (日本大学津田沼キャンパス)

お知らせ

- ◆ 土木学会誌の特集記事の概要を JSCE の website (英語版) にアップしました。
<http://www.jsce-int.org/pub/magazine>
- ◆ コンクリート委員会 ニュースレター No. 33 が発行されました。
<http://www.jsce.or.jp/committee/concrete/e/newsletter/Newsletter.htm>

御協力をお願い

国際センターでは、国際活動に関する“情報発信の強化”を目標に掲げ「国際センター通信」を配信しておりますが、更に配信先を拡大し、皆さまと情報を共有していきたいと考えています。

つきましては、皆さまより周囲の方々へ国際センター通信をご紹介いただき、国際センター通信の定期的配信を希望される方には、次の登録フォームよりご登録いただくよう御案内いただけませんか。何卒、御協力のほどよろしくお願いいたします。

「国際センター通信配信希望者 登録フォーム」

- ・ 日本語版 : (<http://committees.jsce.or.jp/kokusai/node/31>)
- ・ 英語版 : (http://committees.jsce.or.jp/s_iad/iac_news_registration)
- ・ 英語版 (日本の大学等への留学経験をお持ちの方) : (<http://committees.jsce.or.jp/kokusai/node/30>)

会長のつぶやき

◆ 留学生ネットワーク

2012年4月に発足した国際センターには留学生グループが組織されています。このグループは日本に留学している、もしくは留学していた皆さんのネットワークを構築する活動をしています。

このネットワークには少なくとも3つのメリットがあります。まず政府機関、大学、そして企業に所属する人々のネットワークを通して、過去に日本に留学され、世界中で様々な分野でご活躍されている皆様のビジネスに有益な人脈形成に寄与できます。次に留学生の皆様の職業選択肢が増えるのではないかと考えています。さらにこれから留学しようと考えている学生にも有益な情報を提供できるのではないのでしょうか。

我々は皆様に官学産の様々な土木に関する情報をホームページ (<http://www.jsce-int.org/>) や国際センター通信 (<http://www.jsce-int.org/pub/iacnews/7>) を通じて提供しています。国際センターに登録フォーム (<http://www.jsce-int.org/taxonomy/term/10>) を通じてご登録いただいた皆様には、月一回の国際センター通信をメールにて送付致しますので是非ご登録ください。私達は、この国際センター通信に就職、技術、各種シンポジウム、政府行事、プロジェクト等の情報を掲載し、充実させていこうと考えています。

皆様のご協力を得ながらこのネットワークを有意義に活用し、ビジネスや研究に役立てるばかりでなく、皆様の母国と日本の架け橋を築いていこうではありませんか。

編集後記

本年4月より、土木学会国際センターにてお世話になっております。今回初めてセンター通信の編集を手がけましたが、慣れない英文の原稿には少々手を焼いてしまいました。センター通信は学会ホームページと同様、国際センターの活動を発信する重要なツールです。いろいろと試行錯誤を重ねながら、さらに内容を充実させるべく努力いたします。これからも温かい目で見いただければ幸いです。よろしく願いいたします。(T)

【ご意見・ご質問】: JSCE IAC: iac-news@jsce.or.jp
本通信をより話題性に富んだ内容にするため、皆様のご意見やコメントをお聞かせください。

